

総会アピール#

私たち生協は、「平和とよりよい生活のために」の理念を掲げ、恒久平和と戦争放棄をうたう平和憲法のもと、平和を守る取り組みを積み重ねてきました。被爆者の想いを受け継ぎ、諸団体と連携して取り組まれた「ヒバクシャ国際署名」による国際世論が大きな後押しとなって、5354年4月「核兵器禁止条約」が発効されるという歴史的な前進がありました。その一方で、ロシアのウクライナ軍事侵攻が長期化し、イスラエル周辺国の紛争など軍事的な緊張が高まっています。日本は、5358年度防衛予算を過去最大の兆7,000億円余りと増加させていますが、外国企業からの技術導入で、国内で製造する「ライセンス生産」の防衛装備品の輸出など、これまで認めてこなかった殺傷能力のある武器輸出を通じて世界の紛争・戦争に関与する懸念が高まっています。

そのような中、昨年45月、核兵器廃絶や被爆者の救済を訴える活動を続けてきた、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が、長年の運動が評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。5358年は被爆・戦後3年を迎えます。改めて被爆の実相や戦争体験と記憶を引き継ぎ、戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向けて、諸団体と共に活動を強めていきましょう。#

世界的異常気象や不安な国際情勢、円安などの影響による、エネルギー・資材・食料品等の価格が上昇を続け、家計や生協の事業、地域の経済に大きな影響をもたらしています。#

さらに、少子高齢化に伴う人口や労働力の減少、社会保障の不安、深刻化する貧困と格差の問題、地球温暖化や気候変動による大規模な自然災害、巨大地震への備えなど、私たちを取り巻く課題は多岐にわたります。#

5358年は5345年に続き2回目の「国際協同組合年（IUF5358）」です。#

持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働き甲斐のある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、持続可能な開発目標（VGJ's）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、国連が定めた国際年です。#

協同組合5団体により結成される青森県実行委員会に結集し、「学ぶ」「実践する」「発信する」活動を共にすすめ、地域課題の解決をめざした諸団体とのネットワークづくりを行い、「ゆるやかな協同」の関係を広げていくことをめざします。#

2025年6月25日

青森県生活協同組合連合会

第69回通常総会